※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	デザイン実践	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	デザイン実践　（実教出版）						
副教材等	色彩ワークショップ　（日本色研事業）　その他　プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① デザインに関わる基礎から専門分野までの内容を幅広く取り上げ学習する。
② 工業におけるデザインの役割を認識し、ユニバーサル、サステイナブルデザインの理念を踏まえて、多種多様な製品に相応しいデザインの在り方について知識を深めていく。
③ 工業製品の造形上の美的原理を理解させ、その上で「ビジュアル」「プロダクト」「環境」デザインの各専門分野について事例をとりあげ、メディア教材の活用などを含めた学習を展開させる。
④ デザインの計画・立案・構成・検証を体験するために、ブレインストーミングを活用しグループでのデザイン研究も実施する。
⑤ デザイン技術の学習を「製図」「デザイン材料」「デザイン史」などにも大きく関連していく授業展開としていく。
⑥ 自主的・協調的な学習への取り組みと、教員からの指示に適切に対応できる社会性を要求する。

２　学習の到達目標

① デザインについて社会と生活の関係を踏まえ、産業界における生産の合理化や統括生産の意義・役割を理解するとともに、関連する基礎的な知識や技術を身に付けている。
② デザインにより解決できる諸課題を発見し、諸問題の適切な課題解決をめざすために、知識や技術を活用した科学的な根拠に基づいて判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。
③ デザインによる豊かで快適な空間を構築することをめざして、自ら学び、デザインの発案者としての責任感や協動的に取り組む態度がみられる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザインについて社会と生活の関係を踏まえ、産業界における生産の合理化や統括生産の意義・役割を理解するとともに、関連する基礎的な知識や技術を身に付けている。	デザインにより解決できる課題を発見し、諸問題の適切な課題解決をめざすために、知識や技術を活用した科学的な根拠に基づいて判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。	デザインによる豊かで快適な空間を構築することをめざして、自ら学び、デザインの発案者としての責任感や協動的に取り組む態度がみられる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	工業におけるデザイン	第1章 1. 工業とデザイン 2. デザインの領域 3. 工業製品の企画と計画 4. ニーズとデザイン 5. 組織と進行管理	a:デザインの領域を把握し、工業製品と企画について必要なデザインの知識を正しく理解し、習得している。 b: 生活の質的向上のため、工業製品に求められるデザインを考察し的確な表現力を身に付けている。 c:各単元に対して意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	定期考査 ノート 小テスト 発表	定期考査 ノート 小テスト リサーチ レポート 発表	授業態度、 発表 忘れ物 意欲 積極性 協働性
	デザインと創造活動	第2章 1. 造形活動とデザイン 2. デザインと創造 3. 観察と表示 4. 形態と構成の原理 5. 平面構成 6. 立体構成 7. 色彩 8. 人間要素	a:デザインの創造的手法を理解し、表現のための形態・構成の原理や色彩について知識・技能を習得している。 b:平面構成や立体構成について実践・考察し、的確な表現力を身に付けている。 c: 各単元に対して意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	定期考査 ノート 小テスト 発表	定期考査 ノート 小テスト リサーチ レポート 発表	授業態度、 発表 忘れ物 意欲 積極性 協働性
2学期	ビジュアルデザイン	第3章 1. ビジュアルデザインの概要 2. グラフィックデザイン 3. パッケージデザイン 4. 情報とデザイン	a: デザイン用語に関する知識を理解し、デザインに必要なコンピュータ操作を正しく習得している。 b:視覚デザインに関して的確な表現力を身に付けている。 c: 各単元に対して意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	定期考査 ノート 小テスト 発表	定期考査 ノート 小テスト リサーチ レポート 発表	授業態度、 発表 忘れ物 意欲 積極性 協働性
	プロダクトデザイン	第4章 1. プロダクトデザインの概要 2. インダストリアルデザイン 3. 繊維・服飾デザイン 4. 工芸品のデザイン	a:デザイン用語や製作プロセスに関する知識・技能を習得している。 b:人間工学に基づいた生活用品を考察し、美と用を兼ね備えたデザインの表現を身に付けている。 c: 各単元に対して意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	定期考査 ノート 小テスト 発表	定期考査 ノート 小テスト リサーチ レポート 発表	授業態度、 発表 忘れ物 意欲 積極性 協働性
3学期	環境デザイン	第5章 1. 環境デザインの概要 2. 住空間のデザイン 3. 公共空間のデザイン 4. 都市空間のデザイン	a:環境デザインの用語・用法について正しく理解し、習得している。 b: 地球環境をも含めたサステイナブルな住空間について考察し、快適な環境を表現する力を身に付けている。 c: 各単元に対して意欲的に学習に取り組み、学習態度は真剣である。	定期考査 ノート 小テスト 発表	定期考査 ノート 小テスト リサーチ レポート 発表	授業態度、 発表 忘れ物 意欲 積極性 協働性

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用